

一般質問



人口減少と高齢者対策

問 本市の人口が12万人を割ったが、この間の施策に対する総括を聞きたい。

答 新たな総合計画の策定中

で10年間の総括を行っており、人口減に対し一定の進展は見えたと考える。

問 東京圏域からの高齢者移住提言に対する市長見解について聞きたい。

答 本市の名前が出たことはこの間の高齢者施策の評価だと思う。今後も高齢者の本市への移住について、問題点や課題解決を前提に検討したい。

再発言 条件次第ではチャンスとして捉え、そのための準備を考えるべきと思う。

問 本市のニセ電話詐欺の件

数はことしに入って、11件で被害額は3,930万円である。

ニセ電話詐欺に対する本市の対策と取り組みはあるのか。

答 警察を初め関係機関等と連携をしながら、より一層の広報啓発活動等に取り組む。

問 高齢者の熱中症対策として、公民館など開放して涼んでもらう考えはあるか。

答 地区公民館は、館内共有部分等も冷暖房管理を行っている。夏場、熱中症対策の観点から多くの方が集う場所として利用してもらいたい。



世界遺産登録への準備と三川坑跡地の整備について

問 大牟田のお土産をどこで買えるのか。石炭館で売ってみてはどうか。

答 物産販売場所の確保は大

きな課題。石炭館では、DVDや写真集などを販売しているが、今後関係団体の協力を得ながら、充実していきたい。

問 三川坑跡は、人を常駐させる施設とするのか。

答 大牟田や石炭の歴史を常時公開したいと考えており、常駐する必要があると思う。

問 公共施設維持管理計画と三川坑跡整備基本計画との方向性のギャップを感じるが。

答 同維持管理計画では、施設の新設は基本的にはできないが、政策的にやる際は、市

民の意見を聞き、十分議論をすべきであり、三川坑は一定の議論ができていると考える。

再発言 展示は、三川坑跡ではなく、石炭館でもできると思う。将来の維持管理をどうするか踏まえた計画が欲しい。

プレミアム商品券は、本来の目的を達したか

問 市民の不満の声が多いが、現状認識と今後の対応は。

答 商工会議所等とともに、問題点をしっかりと総括し、今後に生かしていきたい。



市民を幸せにする実現実行可能な次期総合計画の策定を

問 同計画策定の意義は何か。

答 大牟田市総合計画条例の中で、総合計画は本市のあらゆる分野を対象とした総合的

かつ計画的な市政運営を図るためにまちづくりの指針であると規定している。

問 目指す都市像は何か。

答 目指すべき都市像としては、人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするほっとシティおおむたを考えている。

問 目指す都市像実現のための基本目標は何か。

答 五つの基本目標、はぐくみ、にぎわい、やさしさ、くらし、あんしんを定めている。

「はぐくみ」では未来を開く人が育まれている姿を、

「にぎわい」ではものづくりの力とまちの宝が活かされている姿を、「やさしさ」では支え合い健やかに暮らしている姿を、「くらし」では都市と自然が調和した快適なまちになっている姿を、「あんしん」では安心して安全に暮らしている将来の姿を表現している。

問 将来の財政見通しは。

答 次期総合計画のアクションプランを財源的に担保するための財政計画の中で説明をしたい。